

建設業界の女性活躍オンリーワン企業が  
そのノウハウを基に  
AI+ARマネジメントツールを開発  
全国各地の建設業の女性活躍に貢献

建設業界の女性活躍オンリーワン企業

ゼムケンサービスは、圧倒的男性多数の建設業の中で、社員8名中7名が女性という稀有な一級建築士事務所であり、家づくり、店づくり、街づくりに関する空間のデザイン、設計、施工を一貫通貫で行っている。「五感設計」と呼ぶ知覚感覚を統合した新しいデザインと設計手法、また女性ならではのきめ細かな視点による設計・施工サービスにより、差別化を図り成長してきた企業である。同社には、入社3年目の女性が2名、8年目の女性が2名、11年目の女性が2名、すべて現場に立てるよう育成されているという。また11年目の女性2名は、30代で取締役就任している。

建設業界において女性が現場に立つ、とりわけ現場監督として立つということはなかなか受け入れられてこなかったが、同社の社員は、あたり前に現場に立っている。自分自身が現場監督として苦勞して実績を積み重ねてきた経験をもとに、女性社員の育成に打ち込んできた籠田淳子社長は、「職人の方々の伝統を守る」と「お客様の思いのギャップに対し、現場とお客様の通訳のような役割を果たすコミュニケーション」に、こだわりを持って、人材育成に取り組んできたと話す。また、人材育成と並行しワークシェアリングを実施、二人現場体制を敷いてお互いの時間に融通を利かせることで、子育て中や介護中の社員も安心して、継続的に仕事に取り組めるようにしているという。

こうした人材育成や働き方改革を進めてきた中で、2012年には1億円程度であった売り上げも現在では4億円に増加し、「人を育てられる会社は成長できると実感している」と籠田社長は話す。

なお同社は2015年に内閣府から“女性が輝く先進企業表彰”を受けている。

“けんちくけんせつ女学校”を開設、  
全国各地の建設業の女性活躍に貢献

ゼムケンサービスには、A4で899ページにも及ぶ人材育成ノウハウが蓄積されているという。そのノウハウを基に、

2019年には女性視点の現場管理や責任者の育成を目的にして、“けんちくけんせつ女学校”を開設、大阪、福岡、WEB等で講座を開催している。“けんちくけんせつ女学校”は国土交通省・建設業振興基金の支援を受けて活動し、同社でインターンの受け入れや受け入れ企業の斡旋なども行っている。

また2021年度からは厚生労働省の就職氷河期の方々を対象とした資格取得事業の地域拠点として、職業訓練や無料職業紹介などを行っている。

「今まで建設業では女性や障害者は、受け入れられてこなかった。そのイメージを変えたい」「自分自身でやってみて、建築が好きなら必ずできる」「他の建設業の方も、同じようにできることを知って欲しい」と籠田社長は熱く語っている。



佐賀県でのセミナー

培った人材育成ノウハウを基に、  
AI+AR(愛ある)マネジメントツールを開発

ゼムケンサービスは、全国の建設業の女性社員や若手社員の育成に寄与したいという思いで、早稲田大学産学融合国際戦略研究所と共同で、AI(Artificial Intelligence)、AR(Augmented Reality)技術を利用した情報システムを開発している。このシステムは、現場にいる経験未熟な女性や若手社員と事務所にいる経験豊富な上司が、iPadなどを使い現場の画像を共有し、画像と言葉で双方向の通信を行い、コミュニケーションが取れるシステムである。

このシステムの主な機能や効果を見ると、

- ARを使った遠隔通信機能により、現場の映像を共有しながら、離れた場所にいる上司などが状況把握や書き込み、また口頭で指示が行え、移動時間の削減なども可能



代表取締役  
籠田 淳子 氏  
北九州市出身。法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科修士、経営管理修士(MBA)。一級建築士、商業施設士。ハウスメーカー勤務やヨーロッパ留学などを経て、1993年 実家のハゼモト建設株式会社に入社。2000年 有限会社ゼムケンサービス代表取締役就任。2006年 建設業初の女性技術者のワークシェアリングによる採用。2018年 建設業女性活躍推進ネットワーク副幹事長就任。2019年 けんちくけんせつ女学校開校。2013年内閣府「女性のチャレンジ賞」、2014年度内閣府「女性が輝く先進企業表彰」内閣府特命担当大臣表彰、ほか多数。

となる。

- 現場の注意すべき場所が、iPadをかざすとAIによる気づき箇所ハイライト機能で、自動的に表示され、安全管理に大きな役割を果たしている。
- 現場独特の専門用語を翻訳して示す辞書があり、経験未熟な社員にとって、現場コミュニケーションの助けになっている。
- ゼムケンサービスのノウハウが詰まった品質管理重要管理点マニュアルの表示機能は、地鎮祭から始まる建築の工程別に、担当者が確認・実施すべき事項がチェックリスト化されていて、現場にいながら必要事項が確認できる。

このように、このシステムは、現場の安全管理と品質管理に寄与し、経験未熟な社員の技術的なサポートと心細さを抱えている現場社員の心の支えになることを意図している。ゼムケンサービスでは、このシステムを“AI+AR(愛ある)マネジメントツール”と名づけ、人材育成や省力化のみならず、モチベーションの向上、ひいては人材定着化の武器としての活用を勧めている。



有限会社 ゼムケンサービス

AI+AR(愛ある)マネジメントツール



企業概要		DATA
企業名	有限会社ゼムケンサービス	
代表者	籠田 淳子	
所在地	北九州市小倉北区片野三丁目7番4号	
TEL	093-931-0301	
FAX	093-951-1000	
資本金	2,000万円	
創業	1993年	
従業員数	8人	
事業内容	特定建設業・一級建築士事務所(空間プランニング、デザイン設計、デザイン工事等)	
URL	https://www.zmken.co.jp/	



取材を終えて

ゼムケンサービスは、「女性の喜び、生きがいを作る日本一のチーム」をビジョンに掲げ、女性建築士、デザイナー、現場監督などを育成し、社員の成長とともに成長してきた企業であり、“建設業界の女性活躍オンリーワン企業”とあってよいであろう。そのノウハウから生まれたAI+ARマネジメントツールは、まだ運用を開始した段階ではあるが、今後、全国各地の建設会社の女性活躍に大きく貢献していくものと期待される。